

1985・1

第 8 号

しろこぼと

— 日本野鳥の会埼玉県支部 —



新 た な る 決 意 を も っ て

日本野鳥の会埼玉県支部

支部長 今 井 昌 彦



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様はすでに野鳥の姿を求めて、様々な活動を始められていることでしょう。

日本野鳥の会 50 周年記念の年に埼玉県支部が新たな活動をはじめることになりました。

4月の発足以来、役員、ボランティアの会員の努力と熱意、さらに関係諸団体の御支援によって、30回におよぶ探鳥会を開き、シギ、チドリ類調査、大麻生サンクチュアリ計画、浦和見沼墓地計画問題などに取り組んでまいりました。発足時には考えられなかった活発な活動に、支部長として、驚きとともに、大きな喜びをかくしえないものであります。新春の陽光の中で、50年にも及ぶ長い歴史ある日本野鳥の会の自然保護活動の炎を、埼玉の地に消してはならないと心を新たに

おります。

日本野鳥の会の生みの親である中西悟堂先生がお亡くなりになりました。先生につれられて、軽井沢の森に野鳥を求めて歩き、野鳥の習性やエピソードを楽しくお話ししていただいたことが、つい、昨日のこのように思い出されます。先生は自然を人間が守るのではなく、自然の中に人間が生きているのだとおっしゃっていました。中西先生を失ったことは、日本の自然保護運動にとって大きな痛手ですが、先生の教えを守り、新たな決意をもって埼玉の自然保護活動に邁進していく所存です。

20年にわたる自然保護活動の実績ある秩父愛鳥会との協力体制も確立し、今年は支部活動の発展がおおいに期待されております。埼玉の美しい自然のため、会員の皆様方の積極的な御支援、御協力をお願いして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

特 集



探鳥会とはどういうものか最初は不安でしたが、“エイいってみよう”と人一倍重い腰を“ヨイショ”と上げ参加させていただいて1ヶ月。

毎回新しい鳥・新しい発見・新しい感動があります。一度は見てみたいと憧れていたカワセミ・ヤマセミ etc. をもう見ることが出来ました。シックな姿、それぞれ特徴ある美声。本当に神の造形力に感心しつつ、もう40種の鳥達を見ることが出来ました。さて、次はどんな鳥達に逢えるのでしょうか……。

それにしても探鳥地がそれぞれゴルフ場や墓地の予定地だったり、埋め立て工事が進行

中だったり、変化しつつある場所です。限られた土地の上に人も生活して行かなければならないのですから仕方がないとはいえ、野生生物との共存の場であって欲しいと切実に思います。私の住んでいる北本市でも、久しぶりに通ってみると急に視野が開け、あれ……！？ 林がなくなってしまう煙がモウモウと立ち上り伐採した小枝を燃やしていたりで、急速に宅地化が進んでいます。林がほんの数時間で跡形もなく消えてしまいます。本当にその早さには驚かされます。21世紀は埼玉の時代と、ますます開発が進むことでしょうが、その一方、自然を守ることも早急にせねばな

伊良湖岬より発つ鳥や鱗雲
（子
鳥
の
声
）
〜
あ
ら
ま
の
新
空
は
あ
か
い

伊良湖岬より発つ鳥や鱗雲

諸徳寺四郎（大宮市）

らない大切なことだと思
います。小さな声を1つ
2つ3つと集め大きな声
にならないかナア……と
常々思っていますが、そ
れにはどうしたらいいの
でしょうか？

1人でも多くの子供達
が探鳥会に参加して野鳥
のたくましさ、かわいさ
を頭の隅にでも記憶して
おいて欲しいと思います。
次の時代をにやうのは子
供達なのですから。

桶川の探鳥会に3人の
お子さんをつれたお母様

が参加なさっていました。なんと一番下のお
子さんは1歳半で乳母車に乗っての参加でし
た。将来が楽しみです。

さあ、おコタにかじりつかないで出かけま
しょう。一家そろっての探鳥なんて楽しいで
すよ。きっと。新しい鳥達に逢えますよ。歩
いた後のお弁当のお美味しいこと!!! みなさん
探鳥会でお逢いしましょう。

場谷内ルミ子（北本市）

見沼の水 細く流るる 川の面に
魚浮く見ゆ きそいすくいぬ

いつも御骨折り心強く思っています。川口
でも私の住む赤井地区は自然の多く残って
いる方でした。それが今、見沼用水は三面舗装

で固められ20年間親しんでいたコサギとも縁
切りとなりました。わずかにあるドブ川の辰
井堀でハクセキレイが川虫を食べ、驚くこと
にスズメに与えた御飯粒を食べている姿を見
てしまいました。

4、5年前カルガモが子供11羽をつれて泳
ぐ姿を見た時のうれしさ、増水するといつも
忘れずにやってくる一つがいのカルガモ、み
んな夢の夢となってしまいました。この秋の
終わり大利根の水門がしめられて減水し、沢
山の魚が浮き、みんな大騒ぎで捕えました。

自然の法則が失われた時には人間も滅びる
という事を多くの人が認識して、小さな弱い
ものを守ってあげるのが人間の責任であり、
それが私達に幸せをくれるものと思っています。

からす瓜の 紅くからみし 山すそを
歩めば鳥の 声のにぎわし

鳥光てる（川口市）

野鳥の会に入って半年程ですが、探鳥会に
参加して、野鳥を見ることの楽しさを知りま
した。自然を保護していかなければ、この鳥
たちも少なくなってしまう。自然を破壊
するのも、保護するのも、人の考え方に決め
られるようです。家の近くでも、今の時期は
キジやウグイスの声を聞く事があります。い
つまでも、この野鳥たちが見られる事を願
います。『しらこばと』をいつも楽しく読んで
います。これからも、いろいろな企画を期待
します。

小 淵 健 二（寄居町）

ジョウビタキ（ヒタキ科）

秋も深まり、野山が色づく10月20日前後
には人里に現われ、カタカタ、ヒーヒーと鳴き
ながら春まで我々の目を楽しませてくれるの
がジョウビタキである。

この鳥を見てバードウォッチャーになっ
てしまったという人がたくさんいる。それほど
可愛らしく、愛嬌のある鳥である。

ウメモドキヤムラサキシキブなどの実を好

み、ナワ張り意識が強く、定着するまでは取
組み合い、にらみ合いのケンカをしている。
だから冬場に2羽同一場所で見かけることは
ほとんどない。

今年もこの鳥を見て病みつきになる人が1
人でも多く増えれば彼らの功績は大である。

（表紙の写真と文・篠原五男）

(会員の声特集のつづき)

この春、十数年ぶりに生まれ育った県南の和光市にもどってきた。

まず驚かされたのがアオゲラであった。こんな所で見れるとは予想もしなかった。渡りの途中とはいえ、2週間ちかく近くの林で見ることができた。おなじ仲間のコゲラなどは年間を通して見ることができた。

そして、秋にはキビタキ(オス1、メス2)が、3週間ちかく生家の軒先につるしたダイズについている虫を食べにきた。

とはいっても、和光市に緑がたくさん残っているわけではない。開発を免れた斜面林がすこしあるだけだ。わずかな緑でも、渡りの途中の鳥にとっては重要なのであろう。

私たちは、埼玉の自然を考える第一歩として、自分達の住んでいる町の自然を、もう一度みつめなおす必要があるように思われる。

そのために、野鳥の会の会員が、自分達の住んでいる町で、野鳥を通して仲間を増やしたいものである。

増 田 裕(和光市)

会員の石井生高さんが学校のクラブ活動の時間にお忙しいのにもかかわらず来校くださって子供達に鳥についてのすばらしさや実際に双眼鏡を利用しての鳥のとらえ方など教えてくださいました。

おかげ様で子供達が地域の鳥を調べてみようという日曜日になると双眼鏡を肩に出かけるようになりました。

そんな子供達のために、また石井さんの自然を大事にしていらっしゃる言葉だけでなく行動に感動いたしました。

私も、野鳥について勉強し、子供達にもプラスになるようにと思い入会いたしました。よろしく御指導ください。

また、入会したとたん400番目とかで、すてきな野鳥のカレンダーをありがとうございました。

倉 林 裕(児玉町)

探鳥会では是非参加者の自己紹介を実行して下さい。このような組織は、とかくたてのつながりは濃くなるのですが、底辺の横のそれが全くといってよい程ないのが大部分です。底力のある支部にするためにも切望するものです。

田 中 智恵子(北本市)

埼玉新聞連載の「埼玉の鳥・冬」毎日自宅で楽しく拝見しております。皆様写真も上手で、文章も平易で親しみが持てます。きょうで18回(ユリカモメ)好評のようです。

寒くなりますと私には感冒が大敵なので用心のため自宅療養をしています。

今度所沢市の松が丘という所に転居します。ご承知と思いますが、東京都東村山市と埼玉県との境界にある八国山を西武不動産が切り開いた、いわゆる緑を壊した場所です。自然破壊に便乗したような格好で心苦しいのですが、開胸術で右肺など大きな手術をしていますので、どうしても空気のキレイな場所での生活が要求されておりますので松が丘に行かせて下さい。

狭山湖へも徒歩で15分位ですし、すぐ前が八国山です。野鳥も多い所です。

小 林 隆 資(所沢市)

幾歳月が過去になりつつある時に

来年来月と思案しても

知らぬ間に

見る機会は得られてあっても

先月、先年とは減少傾向になりつつある自然を知らぬ間に見ている。

やがて10年一昔になって初めて、“ここにはあれが……あのところにはあれが……”となってしまう。

今見ないでいると、いつの間にか“0”になる事も考えられます。

この具体例は、アメリカのリョコウバト……こんなような種は、自然界全体でだしたくないものですね。

加 藤 均(練馬区)

中西悟堂さん逝去

日本野鳥の会の創設者で名誉会長の中西悟堂さんが、12月11日午後8時、肝臓ガンのため亡くされました。明治28年金沢市生まれ、89歳。少年時代に埼玉県秩父山中の寺で修業をして、この時から野鳥との交流がはじまり、昭和9年、日本野鳥の会を創設。『野鳥と生きて』『定本野鳥記』など約170冊の著書が

あります。「野鳥」ということばも中西さんの発明で、はじめて探鳥会をひらくなど野鳥の歴史を築いた偉大な人でした。

12月14日午後1時から都内目黒区滝泉寺で行われた告別式には、県支部を代表して石井生高監事が出席しました。

謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。

野鳥情報

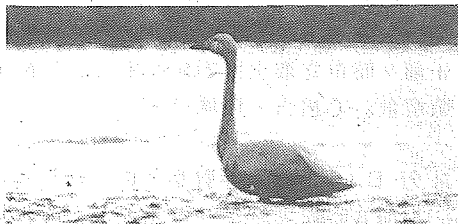
ウズランギ ◇10月27日、大宮市三橋の鴨川遊水池に1羽。(石井 智)

キビタキ ◇10月30日、与野市円阿弥で落鳥♂1羽。(石井 智)

タゲリ ◇11月3日夕方、岩槻市増長の農耕地に23羽。(石川敏男) ◇11月11日、桶川市川田谷で約100羽。(探鳥会参加者)

カワセミ ◇11月4日午前7時半頃、久喜市青毛堀川に1羽。この辺では7~8年振り。(藤原保範) ◇11月7日、坂戸市浅羽野の高麗川に3羽。(鈴木暁子)

コハクチョウ ◇11月9日、熊谷市大麻生で1羽。(今井明巨)



大麻生のコハクチョウ(今井明巨)

ハヤブサ ◇11月11日、桶川市川田谷で1羽。(探鳥会参加者)

ケリ ◇11月14日、桶川市川田谷で1羽。(山部直喜)

アカハジロ ◇11月16日午前8時、浦和市白幡沼に♀1羽。(海老原美夫)

コゲラ ◇11月28日、浦和市中尾で2羽。(草間和子)

カケス ◇11月28日、浦和市中尾で1羽。(草間和子)

ウグイス ◇11月28日、浦和市中尾で2羽。(草間和子)

カワアイサ ◇11月29日午前10時頃、熊谷市大麻生で♀1羽。(今井明巨)

ノスリ ◇12月1日、寄居町大正池で1羽。(石井生高)

ルリビタキ ◇12月1日、寄居町騎の内地区で♂♀各1羽。(石井生高)

ミソサザイ ◇12月1日、寄居町騎の内地区で1羽。(石井生高)

トラツグミ ◇12月2日午前9時半頃、大宮市日進町の自宅そばで1羽。(森本国夫)

シノリガモ ◇12月8日午後1時半頃、浦和市の浦和南部地区調整池掘削工事現場の池で♂1羽。(近藤 崇、伊藤 誠)
埼玉県内で初の記録。



シノリガモ(海老原美夫)



みんなで行く! 探鳥会

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
受付は探鳥会当日です。予約申込みは必要

ありません。(2月10日の分だけ予約が必要)
筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば
双眼鏡(なくても大丈夫)などをご用意く
ださい。小雨決行です。

参加費は、一般=100円、会員と中学生以
下=50円です。

1月6日(日) 寄居町 鐘撞堂山

午前9時寄居駅北口集合(大宮7:31発
→熊谷8:10着→秩父鉄道乗換熊谷8:19
発→寄居8:48着/東武東上線志木7:38
発→川越7:50発→森林公園乗換→寄居
8:45着/八高線東飯能7:37発→寄居8:
39着)午後2時頃解散。ルリピタキ、ミン
サザイを探します。(担当・田村照治、石
井生高)

1月13日(日) 狭山湖 カウント探鳥会

午前9時西武鉄道西武球場前駅改札口集
合(南浦和8:04発→新秋津8:27着→徒歩
約7分乗換→西武線秋津駅8:39発→西所
沢8:46着→狭山線乗換→西所沢8:52発→
西武球場前8:58着/飯能8:24発→西所沢
8:44着→狭山線乗換)全国一斉ガン・カ
モ調査の一環として、本部から講師もむか
え、カウントを行いながらの探鳥会。カウ
ントのやりかたを知りたい人はもちろん、
カウントには全然興味のない人も、みんな
集合。タカ類、カンムリカイツブリも見ら
れます。(担当・海老原美夫)

1月20日(日) 浦和市 三室地区(浦和市 立郷土博物館共催)

午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7:19
発→大宮8:02着→京浜東北線乗換)また
は午前9時市立郷土博物館前集合。午後1
時頃解散。参加費無料。(担当・西城戸司)

1月27日(日) 熊谷市 大麻生

午前8時40分秩父鉄道大麻生駅集合(大
宮7:31始発→熊谷8:10着→秩父鉄道乗
換熊谷8:19発→大麻生8:29着/秩父鉄
道寄居8:22発→大麻生8:40着)12時頃
解散。(担当・鈴木忠雄、堀越照雄、今井明巨)

2月3日(日) 本庄市 阪東大橋

午前9時30分高崎線本庄駅改札前集合
(浦和8:13発→大宮8:19→熊谷9:02→
本庄9:27着/寄居8:22発→熊谷8:49着
乗換/川越7:40発→大宮8:10着乗換)
午後1時ごろ解散。コハクチ、ウヤたくさ
んの鴨たち。(担当・田村照治、石井生高)

2月10日(日) 茨城県 菅生沼

午前8時30分東北線蓮田駅東口広場集
合。(浦和8:06発→大宮8:13発→蓮田
8:23着/熊谷7:26発→大宮8:09着東北
線乗換)何台かの車に分乗して菅生沼まで
約1時間。コハクチ、ウはもちろん、ハヤ
ブサも飛び、干潟にはタゲリも。とにかく
盛りたくさん。午後4時ごろ蓮田駅前で解
散の予定。車に分乗するので定員約30名。
調整の為事前に事務局に申込み。車に同乗
する人は参加費以外にガソリン代500円負
担。車を提供してくださる方、お待ちしております。
(担当・中島康夫)

2月17日(日) 浦和市 三室地区(浦和市 立郷土博物館共催)参加費無料

午前8時15分北浦和駅東口(熊谷7:19
発→大宮8:02→京浜東北線乗換)または
午前9時市立郷土博物館前集合。午後1時
頃解散。(担当・西城戸司)

2月25日(月) 大井野鳥公園平日探鳥会

午前8時赤羽駅京浜東北線ホーム北端
(川口寄り)集合。赤羽始発の電車に乗っ
て品川駅まで行き、品川駅東口からバス、
午前9時半ごろ大井野鳥公園着。午後1時
ごろ現地解散。そろそろ帰りたいのかモ
たちに、別れをつけよう。(担当・佐々木
勉)

探鳥会報告



11月18日(日) 浦和市 三室地区

人 44人 天気 曇 鳥 コサギ カルガモ コガモ コジュケイ クサシギ タカブシギ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス 以上31種 カケスや、芝川におりているユリカモメがよく見えた。

11月25日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

人 29人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサギ イカルチドリ クサシギ イソシギ キジバト ヤマセミ アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ クロジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス 以上27種 すばらしい紅葉の中を歩いて荒川岸に出たらヤマセミがいた。初めは見にくい所にいた彼は、我々の食事中に見やすい岩の上に出て来てくれ、ダイビングして魚を取ったりして、1時間位楽しませてくれた。

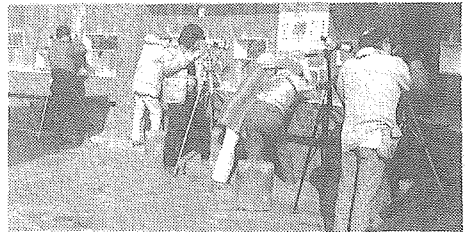
12月2日(日) 熊谷市 大麻生

人 27人 天気 晴 鳥 カイツブリ ダイサギ コサギ マガモ コガモ オナガガモ ハイタカ チョウゲンボウ イカルチドリ イソシギ ユリカモメ キジバト アカゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ホオジロ カシラダカ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス

以上31種 静かな森の中ではカケスと木をつつくアカゲラを、河原ではハイタカとチョウゲンボウの姿を見られた。

12月9日(日) 吉見町 吉見百穴付近

人 33人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ ホシハジロ タゲリ キジバト キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス 以上29種 タゲリ50羽くらいが見られて、東京からタゲリを見るために参加した人たちも満足。カモ500羽くらいも。



大井野鳥公園観察舎にて

12月10日(月) 大井野鳥公園

人 7人 天気 晴 鳥 カイツブリ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ トビ チュウヒ チョウゲンボウ クイナ バン オオバン シロチドリ ダイゼン セイタカシギ ユリカモメ セグロカモメ ウミネコ キジバト ヒバリ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス 以上43種 だれもいない大井のアシ原の中を、少人数でゆっくりと探鳥。ご覧の様に鳥はたっぷり。ムクドリの確認できなかった探鳥会。



冬鳥分布調査にご協力ください

昭和59年12月1日から60年1月31日まで、第3回緑の国勢調査の一環として冬鳥分布調査が行なわれています。日本で初めて冬の全国規模の分布調査で、1978年に行なわれた繁殖期の分布調査と対をなす大変重要な調査です。

すでに埼玉県では53名の方が本部へ調査員として登録し、調査をはじめていますが、県内全域をカバーするには不十分です。そこで県支部では、会員の皆様にデータをお知らせいただき、支部として本部研究部へ報告したいと考えております。県内で皆様が個人やグループでバードウォッチングを行なった時のデータを、下記の要領ではがき書き、お知らせください。

- 調査年月日、氏名、住所
- 観察地の目印になる目標物(例・伊佐沼)
- 鳥の名とおおよその数：一の位、十の位、百の位、千の位、万の位のいずれかの数(例・ヒヨドリ10羽ぐらい、ムクドリ30羽ぐらい)
- しめ切り 2月5日
- あて先 県支部事務局

ご寄付にお礼

次の方々からご寄付をいただきました。ありがとうございました。(敬称略・50音順)
大井野鳥公園探鳥会(12/10)参加者2,950円
加藤均スライド映写機1台、匿名150,000円、
忘年会オークション(12/2)売上金41,800円、
宗形英之 2,000円。

そのほか、所沢市の富岡農業協同組合(中

島治良組合長)から古米150Kgが寄せられ、これは大井野鳥公園でカモたちのエサとして活用される事になりました。

会員数

12月20日現在で425名です。

事務局日誌

- 11月21日 群馬県支部より合同探鳥会(3月10日)の申し入れ。
- 11月23~25日 本部中級指導員研修会に出席(海老原美夫)
- 12月2日 叶内氏スライド大会兼支部忘年会(約30名出席)
- 12月7日 第8回役員会
- 12月13日 NHK紅白歌合戦への出演依頼(出演希望者見当らず)
- 12月14日 中西悟堂名誉会長の告別式に出席(石井生高)
- 12月15日 編集会議



新年おめでとうございます。新生支部も着実に発展しています。皆様のご支援に感謝します。また、新年も『しらこぼと』をよろしく願います。お便り、野鳥情報などどしどしお寄せ下さい。

師走ともなると編集担当者も本業の方が大忙し。編集会議の始まる直前まで原稿書きをしている有様。なにせ原稿がないと仕事になりませんもの(当たり前か)。これも編集会議の席上で言われて大急ぎで書いていて、本当の後記です。(森本 国夫)

題字「しらこぼと」：日本野鳥の会会長・山下 静一

『しらこぼと』	1985年1月号(第8号)	頒価100円(会費に含まれます)
発行所事務局	〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号	発行所 日本野鳥の会埼玉県支部
電話	0488(32)4062	
印刷所	郵便振替 東京9-121130	銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990
	印刷所 崎新印刷株式会社	

(無断転載を禁じます)